

28堀小 〔音楽〕専科経営プラン

◆専科目標

美しい音楽に素直に感動し、美しい音を追求しようとする情操豊かな子供を育てる

◆専科経営（学校経営計画を受けて専科として重点にしていこうこと）

〔方針〕

- ・「もっと表現したくなる授業」となるように、児童の意欲を高め、学習に喜びを感じさせ、音楽を学ぶ楽しさ・合わせる心地よさをたくさん味わわせる。
- ・学級担任と連携を密にし、一人一人の児童理解を深め、個のよさを引き出せるよう、指導の工夫をする。
- ・常に専科相互の情報交換を行い、児童を多角的に見つめ、一定の共通基盤に立って指導していく。

〔重点的な取組〕

- ・主体的に音楽に関わり、思いや意図をもって自分なりの表現を追求しようとする子供を育てる。
- ・自分の音も友達の音も大切に、互いの音を聴き合いながら音楽をつくりあげていく喜びを味わわせる。
- ・音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

◆専科経営（特に大事にすること、配慮すること、継続すること）

音楽表現の基本として、誰もが安心して学級の友達の前で、ひとりで堂々と歌ったり楽器を演奏したりすることができるようでありたい。そのためには、クラスメートを応援する気持ちで温かく見守る仲間がいて、失敗しても笑われない、安心して自分を表現できるという環境を整えていくことが大切である。

発達段階による具体的な指導内容としては、次のように考える。

【第3学年】

リコーダーの導入学年として『自分の音をよく聴いて美しい音をつくること』を身につけさせていく。

姿勢・呼吸の仕方・構え方・タンギングや運指などを中心に個別指導を多く行う。歌唱については、気持ちを込めて歌う心地よさを十分に味わわせる。

【第4学年】

『自分なりの思いや意図をもって表現する』ことをめあてとして、児童が主体的に表現を工夫するように支援していく。二部合唱や学級での器楽合奏を経験させ、お互いの音の重なりを聴き合いながら演奏する楽しさを味わわせる。

【第5学年】

連合音楽会への参加のため、学年で二部合唱・合奏曲に取り組む。その課程を通し、全員で心をひとつにして音楽をつくりあげる達成感を味わわせる。卒業式でも、卒業生のためにすばらしい式となるように音楽的な面からも支える。

【第6学年】

小学校最後の1年間として、卒業式を最終目標に授業を進めていく。グループアンサンブルをいろいろ経験させ、6年間に培った力を使い、自分達の力で練習し曲をまとめていく達成感・成就感を味わわせる。それにより、音楽を愛好し、生涯、音楽に親しむ基礎となることを目指す。